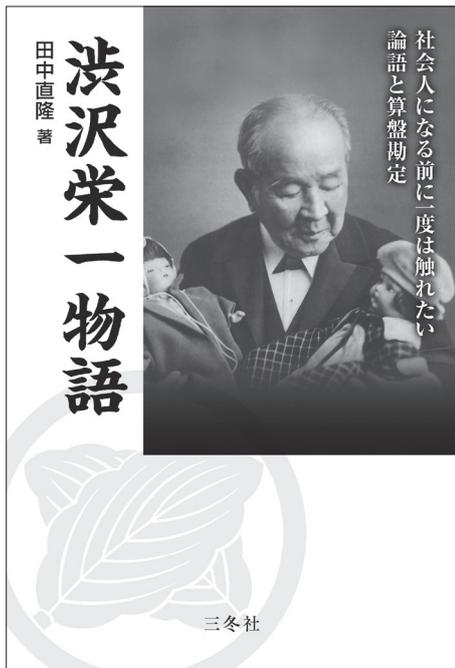


道徳(論語)と利益追求(算盤)！  
日本の近代資本主義の父と呼ばれる  
渋沢栄一を今だから、ぜひ読んでみたい！

富岡製糸場  
世界遺産登録



社会人になる前に一度は触れたい論語と算盤勘定

## 渋沢栄一物語

田中直隆 著

定価 1,500 円+税 四六判、224 頁、上製本  
ISBN978-4-904022-85-6

渋沢栄一に興味を持つビジネスマンは多く、今あらためて注目されてきました。渋沢栄一が創業にかかわった企業も多く、600 社以上あるといわれています。これから社会人になる人々や若手社員などにも、是非読んでいただきたい一冊です。

様々な新聞各社で紹介されました

2014年8月28日(木)  
日本流通産業新聞

### 新刊

「ビジネスと道徳の関係についてもう一度考へるきっかけを与えてくれるのが新刊『渋沢栄一物語』(三冬社発行、田中直隆著、税別1500円)だ。

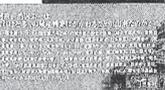
渋沢栄一は、明治維新以降、国立第一銀行を始め、鉄鋼、造船、製鉄といった重厚長大産業から、海運、印刷、ホテル、保険、公共病院、教育産業に至るまで、

### 「渋沢栄一物語」

(三冬社発行) 田中直隆著

#### ビジネスと道徳再考のきっかけに

で、実に幅広い分野の事業の創立に携わったことで知られる。その数は実に約600に及んでおり、みずほ銀行、日本郵船、王子製紙など、現代まで続く大会社の源流をたどると、渋沢の名にたどりつくことが少なくない。「日本の近代資本主義の父」とも呼ばれる。名著「論語と算盤」(よりて行えば、怨み多し)、「子曰く、利に放



「渋沢栄一物語」(三冬社発行、田中直隆著、税別1500円) 2冊とも

「論語と算盤」(三冬社発行、田中直隆著、税別1500円) 2冊とも

なかもご覧ください

2014年7月19日(土)  
日本経済新聞 (朝刊)

三冬社

7月の新刊

使えるデータが  
あります

日本の国民皆保険制度は世界的にすぐれた制度である  
支出削減して高齢者医療・介護を守る方法  
アベノミクス後の女性の生活と消費を読み解く  
女性の暮らしと生活意識データ集2014

今、この国は殖産興業が必要だ！  
社会人になる前に一度は触れたい論語と算盤勘定  
**渋沢栄一物語**

田中直隆著 224頁 価格1,620円(税込)

http://www.santho.net  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2  
Tel 03-3231-7739 fax 03-3231-7735

2014年10月19日(日)  
読売新聞 よみうり堂

殖産興業が必要な今だから  
**渋沢栄一物語**

「社会人になる前に一度は触れたい論語と算盤勘定」

現代は「水」から「水」へ向かう時、あなたは何を捨て何を守るか？  
「火」「土」「金」「水」を定めて、東洋医学の各章で森羅万象を読み解く

2030年の介護と看護サービスの供給体制はどうなるか？  
日本医療経営学大専攻学長 廣瀬輝夫著  
四六判208頁 定価1,620円(税込)

新刊 統計データ集2015 定価1,598円(税込)  
三冬社編集 日本医療経営学大専攻学長 廣瀬輝夫監修

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2  
TEL03-3231-7739 FAX03-3231-7735  
http://www.santho.net

2014年7月11日(金)  
神奈川新聞  
情報ステーション

田中直隆  
「渋沢栄一物語」



世界遺産に登録され、大変注目されている富岡製糸場。この工場の立案から深く関わり、「近代殖産興業の父」と呼ばれている渋沢栄一を知っていますか？  
彼は、幕末の混乱が終わり、明治維新により新たな時代を迎えた日本において、日本最初の銀行となる第一国立銀行(現みずほ銀行)を皮切りに、生涯に600以上の企業や組織、学校などの設立に関わったといわれています。  
本書では、「論語」の研究者でもあった渋沢栄一の、「事業」と「道徳」という一見かけ離れた二つのテーマを融合させる「道徳経済合一説」という経営哲学をわかりやすく書き、彼の人物像に迫っています。  
激変する今の時代にこそ読んで欲しい一冊です。  
(1500円+税)



2014年8月22日(木)  
週刊読書人

新刊



田中直隆著  
「社会人になる前に一度は触れたい論語と算盤勘定」  
渋沢栄一について書かれた本は多くあるが、本書は、ゆえに渋沢栄一の経済と道徳「論語と算盤勘定」の一致が注目されていると著者はいう。渋沢栄一の本質を理解するために必要な論語の教えと算盤勘定を彼の経験に即して紹介することにより、21世紀を生きる社会人・ビジネスパーソンに向けたメッセージになる。(四六判・三〇頁・一五〇〇円・三冬社)

2014年8月7日(木)  
埼玉新聞  
埼玉ナビ2014

渋沢栄一物語



社会人になる前に一度は触れたい論語と算盤勘定  
「渋沢栄一物語」

富岡製糸場と絹産業遺産群 したのは、深谷市出身の渋沢栄一翁。日本最初の銀行となる第一国立銀行(現みずほ銀行)を皮切りに、理化学研究所、秩父セメントなど、約600社の企業や学校、病院などの設立に関わる。その功績は「日本の近代資本主義の父」と称される。

本書では「事業」と「道徳」というものを掛け合わせ、企業の運営にあたらなければならぬいと常々語っていた翁の「道徳経済合一説」についてわかりやすく解説している。  
翁の代名詞「論語と算盤」の哲学に気軽に触れる一冊。

田中直隆 著  
四六判 224頁 1,620円

株式会社 三冬社 TEL 03-3231-7739  
FAX 03-3231-7735  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 http://www.santho.net/

# 経営哲学の理念とっていい 渋沢栄一の人間論を明らかにする

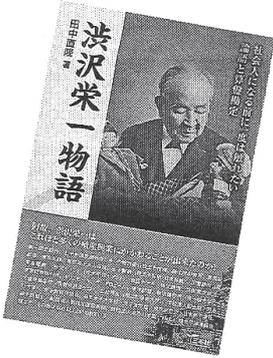
軍事予算を重視した大久保利通と対立して官僚を辞めた渋沢は、大いなる慧眼を持った人物

山井 悟

田中直隆 著

## ▶ 渋沢栄一物語

社会人になる前に一度は触れたい論語と算盤勘定  
7・5刊 四六判224頁 本体1500円  
三冬社



渋沢栄一(1840~1935)は、明治黎明期における日本資本主義体制の形成に大きな原動力となつて活動した人物として知られているが、関わった事業は銀行(Bank)を銀行と訳したのが渋沢栄一である。証券取引所をはじめ、教育、美術、文化関連も含め、実に多岐にわたつて、興じた会社、団体、学校は約60に及んでゐるといわれている。著者は経営学を専攻し、実際に会社を興し経営の実践も行つてきたのだが、学生時代に経営史の講義で渋沢栄一こそが日本の経営史の中でもヒラヤ山脈のエッセンス山的存在だつたことを教わり、以来、関心を抱き続けながら、一念願叶つてようやく上梓できたのが本書であると述べてゐる。

『論語』つまり道徳行為を基本にして展開したたつた著書は、いふまでもなく『論語』を解説してゐる『訓言集』、『論語と算盤』という渋沢の著作を手掛かりにして、渋沢経営哲学の真相へと迫つていくことになる。また、書名『物語』と付されているが、評伝的な記述をとりながらも、著者の経営上の経験と絡めながら、渋沢の経営哲学の理念をいかに人間論を明らかにして

待たれて、明治新政府の大蔵省の役人となる。やがて、理不尽で「過大な予算を押し付けてくる」大蔵大臣大久保利通との確執で官僚を辞める。渋沢、三十三歳の時だつた。「以後、栄一は度々官僚になることを、民間の実業家として大活躍をしていくことになり、企業は利潤追求のみを目的とするような私的な視点ではなく、国益を第一に、そして企業経営の基本理念としては論語の教えを基盤にしていく」という信念をもとに貫き通した事業家としての人生を歩んでいくことになる。

明治近代化、つまり西歐的世界に迫りつつ進んでいくことが近代化である。明治新政府の中枢は考えていたわけだが、そのことで逆に離れ去りしてしまつたものや、失つていったものも多かつた。わたしたちは忘れてはならない。また、むやみな近代化路線はこの国でもとつてあるように、経済大国、軍事大国を目指すという錯覚の歴史を歩んでいくことになる。そういう意味では、軍事予算を重視した大久保と対立して官僚を辞めた渋沢は、大いなる慧眼を持った人物だつたといえる。わたし自身、正直に

いふは「論語」というものに馴染みがない。その教えに感応するだけの下地がないから、渋沢の信念の基盤と視線を射し込むことはできなかつた。著者が、渋沢の人間論の中心理念を次のように記してくれていることによつて、急激な明治近代化に抗つていくこと獲得して、いく豊かさを目指した稀有な実業家、起業家像が浮かび上がつてくるといえるような気がする。「良い人間関係を築き、相互の発展は人間社会の永遠テーマである。政治も企業も家庭もすべて共同生活が前提で成り立っているのだから、良きにつけ悪きにつけ悪人関係の良悪がその組織の良悪にかかってくるのは当然である。特に、企業の中の人間関係の在り方は今でも渋沢訓の中より学ぶべきものが多くある。」

そして渋沢の理念を念頭に置きながら、「成功や失敗といった価値観から抜け出して、超然と自立し、正しい行為の道筋に沿つて行動し続けるなら、成功や失敗等というべルの違い、価値ある生涯を送ることができると語る著者の思いに對し、わたしは拍手を挙げて同意した。(フリーライター)

2014年7月21日(月)  
家庭教育新聞



田中直隆／著  
三冬社  
四六判 224頁  
本体1500円＋税

## 渋沢栄一物語

富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録が決定し、話題を集めているが、創立者の渋沢栄一が生きていればどんな感想を持ったのだろうか。渋沢は富岡製糸場のほか、第一国立銀行、理学研究所、東京瓦斯、東京海上火災保険、王子製紙、秩父セメント、帝國ホテル、東京証券取引所、日本女子大学などの創設に関わり、「日本の近代資本主義の父」と呼ばれる。彼の独立起業の信念を独自の視点でまとめた。特に日本の企業家の元祖という点に視点を置き、若者が独立起業して

## 若者が起業する絶対条件は

いくために絶対必要な条件は何かというテーマを、渋沢経営哲学の中から厳選し紹介している。そこには経営学を学んだ大学時代に渋沢の業績に触れ、経済活動と道徳の一致をとらえて企業家のパイブルともなつてゐる渋沢の著書『論語と算盤』に感銘を受けた著者の思いも込められており、明治から大正、昭和そして平成の現代へと、実業家と教育者としての渋沢栄一の若者へのメッセージが込められている。この1冊ではとても収まりきれない渋沢哲学入門の書としても。

2014年11月8日(土)  
中日新聞

Books 渋沢栄一物語

～社会人になる前に一度は触れたい論語と算盤勘定～

ビジネスと道徳の関係について説いた渋沢栄一の代表作「論語と算盤」。渋沢は明治の代表的な実業家で、先日世界遺産に登録された富岡製糸場をはじめ第一国立銀行、理化学研究所、王子製紙、帝国ホテル、日本女子大学など600以上もの企業・団体、学校、公共病院などの設立に携わり、「日本の近代資本主義の父」と呼ばれている。渋沢栄一に関する本はとてども多く刊行され人気が高いが、本書は「経営学者である前に経営者であるべき」と起業の経験をした学者が、平易な文章で現代に合わせて渋沢の人生と教えを解説する。渋沢の人生哲学や経営哲学はとてども一冊では取まりきれない。渋沢哲学に触れる入門書として本書を活用したい。



四六版・224頁・三冬社  
編纂部・1,500円+税

株式会社 三冬社 ☎03-3231-7739

2014年10月4日(土)  
上毛新聞

渋沢栄一物語



田中 直隆 著  
定価 1,500円+税

縮小する地方経済と  
税収不足を補うために  
「近代資本主義の父」  
と言われる渋沢の哲学  
が注目されている。起業  
を経験した経営学者が  
渋沢エッセンスを現代  
に合わせて解説、渋沢  
哲学に触れる入門書と  
して読んでみたい。

三冬社  
TEL.03-3231-7739 FAX.03-3231-7735  
<http://www.santho.net>

渋沢栄一に触れる…参考に！

|                                |                     |             |      |
|--------------------------------|---------------------|-------------|------|
| 人間渋沢栄一                         | 矢野功                 | 渋沢青淵記念財団竜門社 | 1988 |
| 旅する巨人 宮本常一と渋沢敬三                | 佐野眞一                | 文藝春秋        | 1996 |
| 父・渋沢敬三                         | 渋沢雅英                | 実業之日本社      | 1966 |
| 澁澤榮一傳                          | 幸田露伴                | 岩波書店        | 1939 |
| 埼玉の先人渋沢栄一                      | 金子吉衛<br>蕪塚一三郎       | さきたま出版会     | 1984 |
| わが父渋沢秀雄                        | 渋沢和男                | あずさ書店       | 1985 |
| 渋沢栄一訓言集                        | 渋沢栄一<br>渋沢青淵記念財団竜門社 | 国書刊行会       | 1986 |
| 渋沢栄一 2 論語編                     | 鹿島茂                 | 文藝春秋        | 2011 |
| 渋沢栄一 1 算盤編                     | 鹿島茂                 | 文藝春秋        | 2011 |
| 渋沢栄一、パリ万博へ                     | 渋沢華子                | 国書刊行会       | 1995 |
| 現代語訳 経営論語—渋沢流・仕事と生き方           | 渋沢栄一<br>由井常彦監修      | ダイヤモンド社     | 2010 |
| 現代語訳 論語と算盤                     | 渋沢栄一<br>守屋淳訳        | ちくま新書       | 2010 |
| 「道徳」と経済のあいだ<br>評伝・日本の経済思想 渋沢栄一 | 見城梯治                | 日本経済評論社     | 2008 |
| 渋沢栄一『論語と算盤』が教える人生繁栄の道          | 渡部昇一                | 致知出版社       | 2009 |
| 芸術は長く人生は短し                     | 渋沢和男                | あずさ書店       | 1993 |
| 澁澤榮一傳                          | 土屋喬雄                | 改造社         | 1931 |
| 渋沢栄一                           | 土屋喬雄                | 吉川弘文館       | 1989 |
| 父渋沢栄一(上・下)                     | 渋沢秀雄                | 実業之日本社      | 1959 |
| 渋沢百訓 論語・人生・経営                  | 渋沢栄一                | 角川学芸出版      | 2010 |
| 渋沢栄一「論語」を生かす私の方法               | 渋沢栄一<br>齋藤孝 翻訳      | イースト・プレス    | 2010 |
| 渋沢栄一の思想と行動 近代の創造               | 山本七平                | PHP 研究所     | 1987 |
| 徳川慶喜公伝 4                       | 渋沢栄一                | 平凡社         | 1968 |
| 渋沢栄一 人こそ力なりの思想                 | 今井博昭                | 幻冬舎ルネッサンス   | 2010 |
| 渋沢栄一 100 の訓言                   | 澁澤健                 | 日本経済新聞出版社   | 2010 |

株式会社 三冬社

〒1040028 東京都中央区八重洲2112 城辺橋ビル4F

E-mail: [info@santho.net](mailto:info@santho.net)

URL: <http://www.santho.net>

TEL 03-3231-7739 FAX 03-3231-7735